

# 事業評価調書

## 基本情報

年度	2011	会計コード	10	一般会計	事業コード	21179	
事業名	ジャンプ競技場等運営管理費						
評価担当課	所属コード	観光文化局スポーツ部施設課					
	担当者名	淡路	電話番号	211-3045			
政策名							
施策名	主	5-2-3 ウィンタースポーツの活性化					
	副						
事業の性質	経常経費 [ 内部管理 内部管理以外 ] 臨時的経費						
事業内容	目的と内容	大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場、荒井山ジャンツェ、札幌ウィンタースポーツミュージアムの指定管理者に対し、協定に基づく札幌市支払経費を支出するものである。					
	主たる受益者	市民および観光来訪者					
事業の必要性	施設の管理運営に要する人件費、水道光熱費、業務委託料などから積算される必要不可欠な経費である。 また、本市指定手続条例にのっとり指定する指定管理者に協定に基づき支払う費用であり議会の議決を得て指定を行うことから、指定期間である4年間については本市として支払い義務が生じるものである。						
実施期間	単年度	単年度継続	複数年継続	開始	2010 年度	終了	2013 年度
実施形態	直営	一部委託	全部委託	補助・助成	その他		
関連法令	地方自治法、札幌市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例、札幌市ジャンプ競技場条例、札幌ウィンタースポーツミュージアム条例 等						
他都市の状況	地方自治法の改正により、直営を除く公の施設では指定管理者制度を導入し必要経費を支払っている。						
関係HP							
関連計画	新まちづくり計画	対象	対象外	計画コード			
	政策目標						
	重点課題						
	施策						
	基本事業						
	その他関連計画	札幌市スポーツ振興計画					

## 事業費

		21年度決算	22年度決算	23年度予算	23年度決算	24年度予算
事業費(A)		157,456	151,808	151,808	151,808	151,808
特定財源	国・道	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	37	0
一般財源		157,456	151,808	151,808	151,771	151,808
人工		1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
人件費(B)		7,900	7,700	7,600	7,600	0
計(A+B)		165,356	159,508	159,408	159,408	151,808

事業費の 執行内容	各施設の指定管理者に対する指定管理費				

## 指標

指標 1	指標名	ジャンプ競技場利用者数(人)				
	設定理由	競技の普及、推進				
	目標・実績	20年度実績 5,765人	21年度実績 5,432人	22年度実績 4,759人	23年度目標 5,400人	23年度実績 5,881人
指標 2	指標名	参観者数(人)				
	設定理由	市民等のジャンプ競技への関心度				
	目標・実績	20年度実績 477,020人	21年度実績 465,429人	22年度実績 374,962人	23年度目標 465,000人	23年度実績 371,178人
指標 3	指標名	ミュージアム来場者数(人)				
	設定理由	ウィンタースポーツへの関心度				
	目標・実績	20年度実績 99,114人	21年度実績 86,696人	22年度実績 64,145人	23年度目標 133,000人	23年度実績 89,676人
指標 4	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
指標 5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
補足説明						

〔事業担当部局〕

市民自治の観点からの評価		市民との情報共有のため、ジャンプ競技場等の管理運営を行う指定管理者の関係資料(管理運営業務協定書や業務計画書、決算書など)を市役所2階の市政刊行物コーナーに備え付け、閲覧に供するほか、指定管理者評価シートをホームページで公開するなど、情報共有を進めている。
妥当性・必要性の検証	成果の視点での検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般体育施設と比べ特殊性が高い競技のため、利用者が限られているが、アジアで初めての冬季オリンピック開催都市として、競技の普及、振興に貢献している。</li> <li>・積雪などジャンプ台の状況により、ジャンプ競技場の供用期間を延長するなど、施設利用者の要望等を把握し、サービスの向上に努めている。</li> <li>・札幌市内を一望できるすぐれた環境に位置しており、潜在的な集客能力は大きいと考えられ、より一層のコンベンション活動などの取り組みを強化する必要がある。</li> </ul>
	経常的経費 コストや効率性の視点での検証	経費の内訳は水道光熱費や人件費など、施設を維持管理し、安全な状態で供用するために必須のものである。指定管理者制度の導入にあたっては今後4年間(指定期間)の本市財政状況を見込んだ基準管理費を想定しており、現時点でも管理者による相応の自助努力が必要な経費設置となっている。また、制度上、指定期間内におけるコスト削減などの差分は管理者側の収支となり本市の支出額には影響しない。
	事業の影響縮小	指定期間内については、協定に基づき定められた額を支払う義務が本市に生じるため、本市の都合のみで事業費を縮小することは困難である。
	臨時の経費 実施によるプラスの効果 事業を行わなかった場合のマイナスの影響	
施策目的等から見た課題		事業費規模が選定された管理者の提案額に左右されるため、著しく低額となる可能性があり、途中撤退や選定更新時期における管理費が少額なことを理由とした応募者の不在などの事態が懸念される。
今後の方向	内容	<p>拡充      現状維持      縮小      休止・廃止      その他</p> <p>本事業費は施設を安全な状態で市民に供用するためには必須のものであり、市民サービスの低下を招かないためにも、供用期間、時間等を含め現状を維持する。</p>
	歳出見通し	<p>増加      増減なし      減少      予算なし      その他</p> <p>平成22年度から平成25年度までは現在の指定管理者に対する指定期間であり、指定管理費支払い幾何の予備金額を協定にて定めている。4年間の指定管理費総額を各年度に平準化しているため、歳出見通しは増減なし。</p>
備考		

【2次評価】

--

【外部評価】

--

【改善・見直しの検討結果】

--

## 指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理費	所管課(電話番号)	観光文化局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	---------------	-----------	-------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1274番地外
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目外
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山シャンツェ	所在地	中央区宮の森902番地外
開設時期	平成15年11月(全面改修)	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌ウィンタースポーツミュージアム	所在地	中央区宮の森1274番地外
開設時期	平成11年12月	延床面積	5034.43㎡
目的	冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってウィンタースポーツの普及振興に寄与することを目的とする		
事業概要	(1)冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会に関する資料の収集、保管及び展示 (2)ウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツに関する調査研究及び情報提供 (4)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (5)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		
2 指定管理者			
名称	株式会社 札幌振興公社		
指定期間	平成22年4月1日～平成26年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:4 複数施設を一括指定の場合、その理由:ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。		

業務の範囲	<p>【ジャンプ競技場】</p> <p>(1)施設の維持及び管理                  (2)施設を使用に供すること。                  (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業                  (4)使用承認等に関すること。                  (5)大型映像車の運行に関すること。                  (6)上記各業務に付随する業務</p> <p>【ミュージアム】</p> <p>(1)施設の維持及び管理                  (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施                  (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し                  (4)使用承認等に関すること。                  (5)上記各業務に付随する業務</p>
3 評価単位	<p>施設数:4</p> <p>複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため。</p>

## II 平成23年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																							
1 業務の要求水準達成度																										
(1)総括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から4年間の指定管理者としての経験を生かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行しました。</p> <p>▽ 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進</p> <p>平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでおります。</p> <table border="1" data-bbox="293 1406 1015 1590"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>削減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>1,277,126</td> <td>1,140,275</td> <td>▲136,851Kw</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>16,158</td> <td>15,419</td> <td>▲739ℓ</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td> <td>7,807</td> <td>8,082</td> <td>275ℓ</td> </tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td> <td>80,995</td> <td>70,000</td> <td>▲10,995枚</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標値	実績値	削減量	電気使用量の削減	1,277,126	1,140,275	▲136,851Kw	水使用量の削減	16,158	15,419	▲739ℓ	ガソリン・軽油使用量の削減	7,807	8,082	275ℓ	事務用紙使用量の削減	80,995	70,000	▲10,995枚	<p>管理運営方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウインタースポーツの普及と振興に努めたと考えます。</p> <p>各職員が環境への配慮を意識して取り組みました。目標値より実績値が上回った項目については、目標達成に向け継続して削減に努めます。</p>	<table border="1" data-bbox="1283 922 1484 958"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。環境配慮についても継続して積極的に取り組んでおり、評価出来る。</p>	A	B	C
項目	目標値	実績値	削減量																							
電気使用量の削減	1,277,126	1,140,275	▲136,851Kw																							
水使用量の削減	16,158	15,419	▲739ℓ																							
ガソリン・軽油使用量の削減	7,807	8,082	275ℓ																							
事務用紙使用量の削減	80,995	70,000	▲10,995枚																							
A	B	C																								

<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成、労働関係法令遵守、雇用環境維持向上)</p> <p>統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図りました。</p> <p>計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保しました。</p> <p>教育・研修計画に基づき研修等を実施した。ただし、普通救命講習についてはテキストを用いて、当社の講習経験者が実施。</p>	<p>計画に沿った組織体制を整え、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な職員配置に努めました。</p> <p>また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保いたしました。</p>	<p>平成23年度も適正に管理運営業務を行っているとは評価できる。職員間で情報共有する機会を設け、サービス水準の維持向上に取り組んでいる。</p> <p>また、札幌市や関係団体との協議についても定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。特に利用者の代表としての競技団体との調整は重要であり、適切に対応を行っている。</p> <p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っていると言える。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>各セクションミーティング、大倉山全体会議を月に1回、必要に応じて行い業務の問題点や改善、サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。</p>	<p>今後も職員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題改善に努めます。</p>	<p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っていると言える。</p>
<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行いました。</p> <p>また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づき適正かつ確実に業務が遂行されました。</p>	<p>業務計画に沿って適正な再委託を行いました。</p>	<p>業務計画に沿って適正な再委託を行いました。</p>

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)		協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組みました。 次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めます。
開催日	協議・報告内容	
7月5日	第1回荒井山ジャンプ利用者連絡協議会	
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		
7月5日	第1回札幌市ジャンプ競技場等協議会	
11月8日	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 4月～8月までの業務報告 (施設利用状況、設備修繕等について)	
2月9日	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 ①9月～11月までの業務報告 (施設利用状況、設備修繕等について) ②NTC事業に関わる報告について	
3月28日	第4回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 ①12月～3月までの業務報告 (施設利用状況、設備修繕等について) ②札幌ウインタースポーツミュージアムリニューアルオープンの経過について	
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部及び大倉山事業部担当者		
▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)		適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めました。
指定管理と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理しております。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理しております。		
▽ 要望・苦情対応		お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映しました。
利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応しております。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告します。		
▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)		次年度においては、アンケートBOX設置のみならず、聞き取りによる調査を実施し、利用者の満足度やニーズを検証します。
アンケート結果を受けて意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させております。 ジャンプ競技利用者からの要望や意見を受けて、対応するように努めました。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応しました。		

<p>(2)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めました。施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入しております。また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)にAEDも設置しております。平成17年6月に「個人情報の保護に関する方針」を定め、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めました。拾得物等の取扱いについては、適正に保管し対処いたしました。連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示また、緊急時連絡先等を事務部内に掲示し緊急時に備えました。</p>	<p>計画に沿った管理運営の中で、個人情報情報の保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も慎重かつ安心・安全な施設運営を構築します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">A</th> <th style="width: 33%;">B</th> <th style="width: 33%;">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> <p>計画に沿い、適正な施設の維持管理を行っている。今年度は設置したAEDの職員講習を実施するなど、利用者の安全確保にも十分配慮している。また、大震災を機に防災に対する市民の関心、要望は強く、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	<p>計画に沿い、適正な施設の維持管理を行っている。今年度は設置したAEDの職員講習を実施するなど、利用者の安全確保にも十分配慮している。また、大震災を機に防災に対する市民の関心、要望は強く、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。</p>		
	A	B	C						
	<p>計画に沿い、適正な施設の維持管理を行っている。今年度は設置したAEDの職員講習を実施するなど、利用者の安全確保にも十分配慮している。また、大震災を機に防災に対する市民の関心、要望は強く、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。</p>								
<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行しました。また、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託しました。※委託業務の内容については、別紙1のとおり</p>	<p>業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めました。次年度以降も継続して関係各所と連携の下業務を遂行して参ります。</p>								
<p>▽ 防災</p> <p>防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した(5月・9月) 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した(4月)</p>	<p>今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めます。また、職員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施します。</p>								

(3)事業の計画実施業務				
		A	B	C
(3)事業の計画実施業務	<p>▽ ウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務</p> <p>①自主研修の場の提供(549校来場)                  ②教育普及活動(特別展示7回、イベント4回)                  ③常設展示                  リニューアルオープンして初年度のため、常設展示の変更はしていません。                  ④出前講座(大学、中学、小学、養護学校28校で実施)                  ⑤収蔵品データベース化(展示物・収蔵品の調査データを1,080点追加登録。現在9,295点を登録)                  ⑥収蔵品の収集・調査・研究・展示                  1991年札幌ユニバーシアード冬季大会関係、第1回・第2回アジア冬季競技大会関係等の物品収集及び研究・展示など                  札幌ウィンタースポーツミュージアムタイムスの発行(3回)                  ※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり</p>	<p>業務計画に沿って実施しましたが、札幌ウィンタースポーツミュージアムの常設展示入れ替えについては、リニューアルオープンして初年度のため、変更をしておりません。次年度は、オープンして2年目となるため、常設展示の入れ替を一部実施します。</p>		
	<p>▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めました。                  また、イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等へ利用促進に努めた。                  ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設高機能化事業の2期目となり、引き続きトレーニング環境、情報医学サポート環境の整備を行いました。主にデータ解析、画像処理機能の補強を行いNTC施設として利用者の要望を取り入れ環境の整備に努めました。</p>	<p>ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めました。                  NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行してまいります。</p>	<p>博物館としての性格を併せ持つ施設として、ウィンタースポーツの普及振興とともに、調査研究に積極的に取り組んでいる。今後は特別展的に学芸的な研究成果の展示も積極的に行っていく方がよいと考えます。                  NTC事業については、競技団体と意思疎通を図り、十分連携をとりながら、競技力の向上に向けてさらに積極的に取り組むべきと考えます。</p>	

(4)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

区分	H22実績	H23計画	H23実績
<b>大倉山ジャンプ競技場</b>			
競技利用者	1,008	1,000	964
競技利用回数	84	70	66
その他催物	3	4	6
本部棟会議室	9	21	20
テレビ中継装置	9	9	9
来場者	346,658	357,000	342,171
<b>宮の森ジャンプ競技場</b>			
競技利用者	1,642	1,600	2,151
競技利用回数	110	93	128
来場者	28,304	29,000	29,007
<b>荒井山シャンツェ</b>			
競技利用者	2,109	2,100	2,769
<b>ウィンタースポーツミュージアム</b>			
有料観覧者	39,698	59,480	56,290
無料観覧者	24,447	34,225	33,386
観覧者合計	64,145	93,705	89,676
多目的ホール	2	3	0
<b>大型映像車</b>			
利用回数	32	31	29

▽不承認件、取消し件、減免件、還付件  
 施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行しました。  
 また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。  
 ※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり

▽利用促進の取組  
 イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内。  
 自主事業の中で7月～10月の毎週火・金・土曜日を無料のトレーニング日とし、競技利用者のトレーニング促進に努めた。

ホームページを活用し、貸館内容の掲載や、様々な競技場の活用を提案するなどPR活動に努めました。  
 また、来場促進を図るべく旅行会社へのセールスを行い誘致誘客に努めました。  
 ホームページでジャンプに関する情報掲載や自主事業で行ったスタンプラリー、ジャンプ練習無料開放などによりジャンプ競技の観覧者促進に努めました。  
 各マニュアル等に基づき適正に業務を遂行しました。

A	B	C
ジャンプ競技場の利用者数については、大倉山が前年度実績及び目標数を下回っているが、宮の森では大幅に上回っている。ウィンタースポーツミュージアムについては、落ち込んだ前年度を上回ったものの目標値を下回っている状況にある。今後も利用者数の増加に向けてホームページの活用や自主事業の実施により、ジャンプ競技場とウィンタースポーツミュージアムのPRを行っていく必要がある。		

(5)付随業務

▽広報業務

当社ホームページにイベント情報やジャンプに関する情報を掲載しました。  
 市内観光施設・ホテル等へのパンフレットの設置、ポスターの掲示を依頼したり、イベント時には大倉周辺町内会や店舗にチラシの配布等を行い施設PRと利用促進に努めた。  
 HP上に問い合わせメールアドレスを開設し、利用者への情報提供や問い合わせにも対応した。

HP上にタイムリーな情報を掲載することができました。  
 引き続きホテルや周辺町内会に協力いただき広報業務に努めます。

A	B	C
ホームページを有効に活用し、広報業務に努めている。		

▽引継ぎ業務

前回から継続指定のため、引継ぎ業務はありません。

引き継ぎ業務はありません。

2 自主事業その他

▽ 自主事業

○ジャンプ競技場、ミュージアムの活用

親子で体験「大倉山春まつり」の実施

大倉山キーワードラリーや山頂スタート地点開放などをメインに様々な催しをとおして、ジャンプ競技への関心と普及、地域活性や大倉山施設のPRに努めました。

来場、各アトラクション人数 (人)

区分	来場者	ジャンプ大会	キーワードラリー参加者	スタート入場者
人数	7,866	300	1,989	2,400

「大倉山夏まつり」の実施

ジャンプ選手によるデモ飛行やミュージアムの疑似体験ゲーム大会をメインに様々な催しをとおして、ジャンプ競技への関心と普及、地域活性や大倉山施設のPRに努めました。

来場、各アトラクション人数 (人)

区分	来場者	ジャンプゲーム	カーリングゲーム	バックヤードツアー
人数	3,466	245	51	22

「ウィンタースポーツフェスタin大倉山」の実施

さっぽろ雪まつりの開催にあわせイベントを開催し、ランディングバーンを活用したチューブすべりをメインに、北海道の冬の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努めました。

来場、各アトラクション人数 (人)

区分	来場者	イベント参加者	バックヤードツアー
人数	2,054	798	64

○ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上

「ジャンプ公開練習日の設定による観覧サービスと技術力向上への支援」

7月～10月の毎週火・金・土曜日を無料のトレーニング日として競技利用者のトレーニングを促進し、練習日等についてもHPに掲載し情報発信に努めた。

ウィンタースポーツフェスタin大倉山では、アトラクションの一つとしてホブスレー滑走体験を初めて実施した。また、「大倉山春まつり」や「大倉山夏まつり」と題したイベントを実施し、ジャンプ選手やカーリング選手の協力により参加者とのふれあいや競技のPRに繋がりました。

A	B	C
大倉山春まつり、夏まつりなどのイベントを通じて、市民や観光客に向けたジャンプ競技の普及振興に努めた。また、ジャンプやカーリング競技の第一線で活躍している選手と市民との交流の場を設けることは、札幌市のスポーツ振興にも非常に有意義な活動であると評価できる。		

「ジャンプ大会観戦スタンプラリー2012」の実施  
平成24年1月7日～3月17日のジャンプ大会開催期間中にスタンプラリーを開催し、ジャンプ観戦者の誘致促進に努めた。

スタンプラリー参加人数 (人)

区分	カード配布	2回以上の観戦者	5回以上の観戦者
人数	2,271	1,123	296

※集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等  
再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用し、一部印刷物においては、福祉関連業者へ発注した。  
また、警備係員として障がい者1名を雇用しております。

特殊性等を考慮して可能な範囲で市内企業の活用に努めました。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C
実施方法	実施時期は4月～3月で展望ラウンジ内とミュージアム1階、2階にアンケート用紙を置き利用者に任意で記入していただいた。 回答者数：展望ラウンジ 518名 ミュージアム内520名 他、3階多目的ホールでジャンプ選手へのメッセージや大会・施設に関する意見などのアンケート回答数77名	今後も引き続き利用者からのご意見を反映検証し、よりよい施設運営を目指します。また、アンケートの設問内容の見直しを行い、お客様のニーズを把握する。	アンケート結果については、接客に対して良い回答が圧倒的に多いものの、悪いとの回答も少なからずあることから、何が悪い評価に至ったのか職員間で問題意識を持ち、改善に努めていく姿勢が重要と考える。 また、施設を再び利用したいかについて、「ぜひ利用したい」と同程度ある「機会があれば」のリピーター化が今後の利用者数増加に不可欠と考え、再び訪れたいくなるような魅力ある施設づくりに取り組んでいく必要がある。	
結果概要	[年齢] 10代：478名、20～30代：194名、40～50代：162名 60代以上：95名 [来場回数] 初めて：791名、2回：130名、3～5回：79名、6回以上：31名 [地域] 市内：289名、道内：229名、道外：449名、海外：42名 [接客] 大変良い：258名、良い：188名、ふつう：86名、悪い：14名（接客の回答についてはリフトのみ） [施設を知ったきっかけ] テレビ・ラジオ等：127名、観光誌：254名 紹介：200名、インターネット：51名、旅行会社：59名 [次回の来場] 是非利用したい：291名、機会があれば：259名 利用しない：62名		また、施設を再び利用したいかについて、「ぜひ利用したい」と同程度ある「機会があれば」のリピーター化が今後の利用者数増加に不可欠と考え、再び訪れたいくなるような魅力ある施設づくりに取り組んでいく必要がある。	
利用者からの意見・要望とその対応	[要望] カーリング体験をふやしてほしい。 [対応] カーリングに関わるイベントを8・2月に実施。リニューアルオープン後に企画展示でカーリングの展示を行いました。 [要望] 安全面の問題はあると思うが、スタート地点に立てると良いと思う。 [対応] イベント時にスタート地点を開放し、バックヤードツアーを実施しました。 [要望] 荷物の預かり場所、ロッカー等の設置を考慮してほしい [対応] 貴重品以外の物については、ミュージアム受付で預かる等して対応しました。 [意見] 大会の時にマイカーで来れるようにしてほしい。 [対応] 引き続き、札幌スキー連盟、札幌市とともに協議をしてまいります。	貴重なご意見として謙虚に受け止め、可能な範囲で改善に努めました。 今後も適正に運用してまいります。	来場者からの要望については、適切に対応していると考えられる。	

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	計画	決算(見込)	差
収入	201,106	199,870	▲ 1,236
指定管理業務収入	200,557	199,421	▲ 1,136
指定管理費	151,808	151,808	0
利用料金	48,070	46,927	▲ 1,143
その他	679	686	7
自主事業収入	549	449	▲ 100
支出	210,530	207,548	▲ 2,982
指定管理業務支出	206,615	205,630	▲ 985
自主事業支出	3,915	1,918	▲ 1,997
収入-支出	▲ 9,424	▲ 7,678	1,746
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 9,424	▲ 7,678	1,746

ミュージアムの利用については、有料・無料観覧者とも減少し、利用料金についても、震災の影響により海外団体客の予約キャンセルや風評被害等の要因から減収となりました。今後は展示会やイベントなどをPRした利用促進と更なる経費削減に努め安定した運営に努めます。

A	B	C
		リニューアル工事による休館のため前年度大きく落ち込んだ利用料金収入については、回復の傾向があるものいまだ計画を下回っている。今後もリニューアルしたミュージアムを積極的にPRし、市民、観光客の新規開拓や特別展、イベントの開催によるリピーターの確保など観覧者を増やす工夫が必要と考える。

▽ 説明(消費税込みで記載のため企業会計の決算数値とは異なる)

・収入のうち、利用料金(ミュージアム入館料、ジャンプ台使用料等)については、48,070千円を計画しておりましたが、平成23年3月の震災の影響や風評被害による来場キャンセル、イベントの自粛等で、1,143千円減収となりました。  
 ・支出のうち、指定管理業務支出については、206,615千円を計画しておりましたが、消耗品・水道光熱費等の物件費が、985千円の増となりました。  
 純利益としては、▲9,424千円の計画でありましたが、7,678千円の決算額となりました。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行います。

	適	不適

<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応</p> <p>指定管理者に関わる個人情報の開示、情報公開請求等はありませんでした。</p>	/	<p>適 不適</p>
---	---	-------------

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>平成22年度から4年間指定管理者として指定を受け、前期の実績と経験を活かし適切に管理運営業務を遂行したと考えます。</p> <p>今年度の初めは、震災の影響も続いており、日本全体がイベント自粛傾向でありました。しかし、世界に誇れる観光関連施設として日本全体を元気にするためにも、施設の設置目的を踏まえ、市民・観光客が参加できるような様々なイベントをとおり、ジャンプ競技やウインタースポーツの普及と施設のPRに努めてまいりました。特にさっぽろ雪まつり期間にあわせて実施しました「ウインタースポーツフェスタin大倉山」は4回目を迎え大学生や女子ジャンプ選手の協力の下、多くの参加者がありジャンプ台を活用したアトラクションや新たな企画として一人乗りボブスレー滑走体験等を行いウインタースポーツへの関心と大倉山施設の周知と情報発信に繋がったと考え、今後も継続して行いたいと思います。</p> <p>また、施設の維持管理等においても、業務計画や仕様書に基づき適正な管理に努めましたが、次年度以降も業務の効率化と見直しを行うとともに、エネルギーの節減・経費縮減を念頭に施設の管理運営を遂行し、札幌市や競技団体等と更なる連携を図り施設の活性化とウインタースポーツの普及振興に努めます。</p>	<p>平成24年度は観光関連施設において、特に厳しい年と予想されます。原発問題による節電対策の取組を実施しながら、少しでも多くの集客を図るべく、旅行会社や観光関連施設へのセールス強化等、市民・観光客の誘致誘客に努め、更に札幌ウインタースポーツミュージアムのリニューアルオープンによる魅力やPR等の情報発信に取り組みます。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、適正で効率的な管理運営を行っているという評価できる。全国的な観光業不振のなか、利用者数が低迷する状況にあるものの、その回復の兆しも見え、今後は市民からの公募アイデアの実施など市民レベルでの参加を促す取り組みによる裾野の拡大など一層の工夫をこらした施設の運営と自主事業の展開が望まれる。</p> <p>また、ジャンプ競技の競技力向上と競技人口の拡大に向けた取り組みを札幌市、競技団体等の利用者と緊密に連携して行っていく必要があると考える。札幌オリンピックを開催した都市にふさわしいウインタースポーツの普及振興に今後も積極的に寄与していただくことを期待する。</p>	<p>本年度において特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。</p>

【外部評価】

【2次評価】

【改善・見直しの検討結果】

再委託業務内容	業務の場所
夜間常駐警備業務	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
リフト保守管理業務	宮の森ジャンプ競技場
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
シアター映像装置保守点検業務	札幌ウィンタースポーツミュージアム
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
インラン整備機保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(ブリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイールローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌ウィンタースポーツミュージアム
収蔵品データシステム保守業務	札幌ウィンタースポーツミュージアム

## 1 自主研修の場の提供

2011年度小・中・高等学校・養護学校合わせて約549校が来館した。

## 2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

- ①「カーリング展」 ..... 観覧人数19,395人
- ②「美翔女展示」 ..... 平成24年7月24日まで展示予定
- ③「親子で体験・大倉山春まつり(擬似ジャンプ大会)」 ..... 館内イベント参加人数 約300人
- ④「バンクーバーオリンピック特別展示会」 ..... 観覧人数53,672人
- ⑤「大倉山小学校作品展」 ..... 観覧人数12,362人
- ⑥「大倉山夏まつり(擬似ジャンプ体験・ミニカーリング大会・バックヤード)」 ... 館内イベント参加人数296人  
バックヤード参加人数22人
- ⑦「シアター特別上映会」 ..... 観覧人数71人
- ⑧「三角山小学校作品展」 ..... 観覧人数3,724人
- ⑨「札幌オリンピック開催40周年記念展」 ..... 観覧人数15,959人(平成23年3月31日現在)  
平成24年6月17日まで展示予定
- ⑩「リニューアル1周年記念イベント(ジャンプ大会・ミニカーリングゲーム)」 ..... 館内イベント参加人数1,235人
- ⑪「ウインタースポーツin大倉山(バックヤード)」 ..... バックヤード参加人数97人  
(中央区主催分33名を含む)

## 3 常設展示

常設展示の変更はしていません

## 4 出前講座

- ①大学関係—3校  
東海大学、札幌大学、北海道武蔵女子短期大学
- ②中学校関係—18校  
長沼町立中央長沼中学校、倶知安町立東陵中学校、札幌市立常盤中学校 等
- ③小学校関係—7校  
平取町立平取小学校、芦別市立芦別小学校、札幌市立大倉山小学校、函館市立高丘小学校 等

## 5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中(平成23年1,080点登録、登録累計9,295点)

## 6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

1991年札幌ユニバーシアード冬季大会関係、第1回・第2回アジア冬季競技大会関係、第21回冬季バンクーバーオリンピック大会関係、冬季オリンピック札幌大会の聖火ランナーシューズ等の物品収集及び調査・研究・展示。札幌ウインタースポーツミュージアムタイムス発行(年3回:4月・7月・12月)

## 平成23年度ジャンプ競技場等使用実績

※記載金額は全て消費税込

## 1 札幌ウィンタースポーツミュージアム利用料金(使用料)関係

(1) 観覧料 32,328,440 円

(2) 多目的ホール (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
-	-	-	0
小計			0

(3) ライブラリー (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
-	-	-	0
小計			0

(4) エントランスホール (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
-	-	-	0
小計			0

(5) シアター (単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
-	-	-	0
小計			0

札幌ウィンタースポーツミュージアム利用料金収入合計

32,328,440

## 2 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

### (1)-1 ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	4	28,100	112,400
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	0	28,100	0	12月	3	28,100	84,300
7月	1	28,100	28,100	1月	4	28,100	112,400
8月	7	28,100	196,700	2月	1	28,100	28,100
9月	2	28,100	56,200	3月	0	28,100	0
				小計	22		618,200

### (1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
7月	4	28,100	112,400	9月	6	28,100	168,600
8月	9	28,100	252,900	10月	4	28,100	112,400
				小計	23		646,300

### (2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月18日	第12回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減額	0
10月15日	第5回伊藤杯サマーファイナル大倉山ジャンプ大会	5割減額	14,050
1月8日	第54回HBCカップジャンプ競技会	5割減額	14,050
1月13日	第24回UHB杯ジャンプ競技会第23回TVh杯ジャンプ大会	5割減額	14,050
1月20日	FISコンチネンタルカップ2012	5割減額	14,050
1月27日	FISワールドカップ2012札幌大会	5割減額	14,050
2月4日	第90回全日本スキー選手権大会兼第53回NHK杯ジャンプ大会	5割減額	14,050
2月25日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
3月16日	第13回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割減額	14,050
小計			98,350

## (3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月21日	第12回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減額	0
10月16日	第5回伊藤杯サマーファイナル大倉山ジャンプ大会	5割減額	45,850
1月9日	第54回HBCカップジャンプ競技大会	5割減額	45,850
1月14日	第24回UHB杯ジャンプ競技会	5割減額	45,850
1月15日	札幌スキー連盟会長杯 兼 第23回TVhジャンプ競技会	5割減額	45,850
1月21日	第39回HTBカップ国際スキージャンプ競技会 FISコンチネンタルカップ 2012HTBカップレディーススキージャンプ大会	5割減額	45,850
1月22日	第51回STVカップ国際スキージャンプ競技会 FISコンチネンタルカップ2012	5割減額	45,850
1月28日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	5割減額	45,850
1月29日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	5割減額	45,850
2月5日	第90回全日本スキー選手権大会兼第53回NHK杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
2月26日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
3月17日	第13回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割減額	45,850
小計			458,500

## (4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
7月7日	アイエヌジー生命保険会社「国内研修プログラム2011」	-	28,100
2月12日	中央区ウィンタースポーツフェスタ	-	216,900
2月27日	UHB40周年記念ドラマ撮影	5割減額	216,900
2月29日	UHB40周年記念ドラマ撮影	5割減額	216,900
小計			678,800

## (4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月6日	大倉山夏まつり	-	28,100
2月11日	ウィンターフェスタin大倉山2011	-	216,900
小計			245,000

## (5) 運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月18日～20日	AED救命講習	-	8,190
4月23日～24日	ジャンプコーチ会議	-	10,920
5月8日	ジャンプ少年団練習講演	-	1,820
5月16日	シンガポール大使との意見交換会	10割減額	0
5月29日	ニコルソメット宮の森管理組合会議	-	1,820
6月21日～24日	警備員現任教育講習	-	29,120
7月24日	説明会	-	2,730
8月23日	FISジャッジ・TDセミナー	-	6,370
9月4日	マンション会議	-	1,820
9月18日	管理組合総合臨時総会	-	2,730
9月20日	社内会議	-	1,820
9月29日	社内会議	-	1,820
10月6日	社内会議	-	1,820
10月27日	平成24年度ジャンプ大会運営・広告打ち合せ会議	10割減額	0
10月1日～31日	藻岩山事業部研修	-	159,250
11月1日～2日、4日	警備研修新任教育講習	-	25,380
11月8日	社内会議	-	8,460
11月15日～18日	警備研修現任教育講習	-	33,840
11月26日	北海道スキー連盟ジャンプ・コンバインド部合同専門委員会	-	1,820
11月1日～30日の平日20日間	藻岩山事業部研修	-	169,200
小計			468,930

## (6) 観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

## (7) テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
8月28日	2011北海道マラソン	-	197,000
1月9日	第54回HBCカップジャンプ競技大会	-	197,000
1月14日	第24回UHB杯ジャンプ競技大会	-	197,000
1月15日	札幌スキー連盟会長杯 兼 第23回TVhジャンプ大会	-	197,000
1月21日	第39回HBCカップ国際スキージャンプ競技大会FISコンチネンタルカップ 2012HTBカップレディーススキージャンプ大会	-	197,000
1月22日	第51回STVカップ国際スキージャンプ競技大会FISコンチネンタルカップ2012	-	197,000
1月28日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	-	197,000
1月29日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	-	197,000
2月5日	第90回全日本スキー選手権大会兼第53回NHK杯ジャンプ大会	-	197,000
小計			1,773,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計

4,987,080

### 3 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

#### (1)ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	16	28,100	449,600
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	25	28,100	702,500	12月	0	28,100	0
7月	18	28,100	505,800	1月	8	28,100	224,800
8月	19	28,100	533,900	2月	8	28,100	224,800
9月	15	28,100	421,500	3月	7	28,100	196,700
				小計	116		3,259,600

#### (2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月19日	第29回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割減額	0
1月6日	第53回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	5割減額	14,050
1月19日	FISコンネンタルカップ2012 第6回STVカップレディーススキージャンプ競技大会	5割減額	14,050
2月6日	第90回全日本スキー選手権大会	5割減額	14,050
2月7日	第90回全日本スキー選手権大会ノルディックコンバインド	-	(2月7日の下記大会にて 利用料金を記載)
2月23日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
2月24日	第83回宮様スキー大会国際競技会(ノルディックコンバインド)	10割減額	0
小計			42,150

#### (3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月20日	第29回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割減額	0
1月7日	第53回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	5割減額	45,850
1月20日	第40回札幌オリンピック記念国際大会ジャンプ競技大会 FISコンネンタルカップ2012	10割減額	0
1月20日	第6回STVカップレディーススキージャンプ競技大会	5割減額	45,850
2月7日	第90回全日本スキー選手権大会	5割減額	45,850
2月8日	第90回全日本スキー選手権大会ノルディックコンバインド	-	(強風で大会中止)
2月24日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
2月25日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
小計			137,550

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計

3,439,300

#### 4 荒井山シャツェ利用状況

##### (1)ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	2	22	10月	13	312
5月	16	453	11月	4	65
6月	16	389	12月	0	0
7月	16	376	1月	18	350
8月	11	145	2月	12	284
9月	16	373	3月	0	0
			小計	124	2,769

## 5 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月7日	写真	ミュージ	北ガスフレア西(株)(広報誌取材)	免除	0
5月16日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)(VISIT JAPAN 意見交換ニュース取材)	免除	0
5月26日	テレビ	大倉・ミュ	(株)岩根研究所(HP上での公開)	-	15,000
5月28日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)(観光PR番組の撮影)	免除	0
6月5日	テレビ	大倉山	札幌映像プラダクション(アメリカンホームダイレクトインフォメーション撮影)	-	15,000
6月6日	テレビ	宮の森	NHK札幌放送局(ニュース取材)	免除	0
6月7日	テレビ	宮の森	北海道テレビ(ノルディック複合加藤選手・女子ジャンプ取材)	免除	0
6月8日	テレビ	大倉・ミュ	(株)桐光クリエイティブ(海外プロモーション動画撮影)	免除	0
6月8日	テレビ	大倉・宮	テレビ朝日(ニュース取材)	免除	0
6月9日	テレビ	大倉山	北海道テレビ(ナショナルトレーニングセンター関連取材)	免除	0
6月9日	テレビ	大倉山	北海道文化放送(ジャンプ大会・UHBスーパーニュース企画用撮影)	免除	0
6月10日	テレビ	大倉山	北海道放送(株)(テレビ番組制作のため)	免除	0
6月12日	テレビ	宮の森	エフィンバクト(株)(高梨選手練習取材)	-	15,000
6月15日	テレビ	大倉山	スイートベイジル(株)(テレビ「北海道警察巡査の休日」撮影)	-	15,000
6月15日	写真	大倉山	エイチエス(株)(雑誌取材)	免除	0
6月16日	写真	宮の森	北海道テレビ(全日本合宿ニュース取材)	免除	0
6月17日	テレビ	宮の森	北海道文化放送(UHBスーパーニュース番組取材)	免除	0
6月23日	写真	ミュージ	一宝堂(警察共済組合広報誌掲載)	免除	0
6月25日	テレビ	大倉・ミュ	ジェイズファクトリー(テレビ番組撮影)	-	15,000
6月26日	テレビ	大倉・ミュ	(株)北海道宝島旅行社(「らくらく日本探訪」サイト取材)	免除	0
6月27日	テレビ	大倉山	北海道文化放送(遊歩道の撮影)	免除	0
6月28日	テレビ	大倉山	札幌市観光企画課(震災後の日本の状況を中国に伝える番組制作)	免除	0
6月28日	テレビ	ミュージ	(株)プレジデント社(雑誌「クロネコだより」紹介)	免除	0
7月3日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(第54回札幌国際ハーフマラソン)	-	105,000
7月4日	テレビ	大倉山	札幌テレビ(レディ物語制作)	-	15,000
7月6日	写真	大倉・ミュ	北海道観光事業(2012年度版テレビ父さんカレンダー作成)	免除	0
7月7日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(どさんこワイド179生中継)	免除	0
7月9日	テレビ	大倉山	TBSテレビ(高梨選手取材)	免除	0
7月13日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局(ニュース取材)	免除	0
7月22日	映画	大倉山	東宝映画(映画「僕らがいた」撮影)	-	31,000
7月26日	テレビ	大倉・ミュ	中京テレビ(和田アキ子のニッポン爆笑珍道中ロケ)	-	15,000
7月26日	写真	ミュージ	編集工房 海(土屋ホームスキー部会報誌撮影)	免除	0
7月27日	テレビ	大倉・ミュ	中京テレビ(和田アキ子のニッポン爆笑珍道中ロケ)	-	15,000
8月4日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(福島の子どもを守る会ニュース取材)	免除	0
8月6日	写真	大倉山	報知新聞(大倉山夏まつり取材)	免除	0
8月6日	写真	大倉山	北海道新聞社(大倉山夏まつり取材)	免除	0

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
8月10日	写真	大倉山	旅行読売出版(旅行読売臨時増刊「鉄道の旅」掲載)	免除	0
8月11日	写真	大倉山	㈱樺プロ(NHK・BS「千鳥・樺太はこうして占領された」撮影)	-	1,500
8月28日	テレビ	大倉・ミュ	北海道テレビ放送(中国国内への観光客の誘致・安全・安心PR)	免除	0
8月28日	テレビ	ミュージ	HBCフレックス(「さっぽろ広域観光圏紹介映像」多言語化による配信)	免除	0
9月7日	テレビ	大倉山	日本テレビ(札幌市内の情景番組「しあわせボンビーガール」撮影)	-	15,000
9月15日	テレビ	大倉山	朝日放送(札幌の風景を撮影)	免除	0
9月23日	テレビ	大倉山	㈱ロボット(ドラマ「スープカレー」内の札幌実景撮影)	免除	0
10月2日	テレビ	大倉山	HBCフレックス(CM撮影)	-	15,000
10月3日	写真	大倉・ミュ	十勝毎日新聞(フリーマガジン特集記事取材)	免除	0
10月14日	テレビ	大倉山	北海道文化放送(ニュース番組取材)	免除	0
10月26日	テレビ	大倉・ミュ	㈱ジェイススポーツ(W杯を紹介するテレビ番組制作)	-	15,000
10月30日	テレビ	大倉山	北海道月寒高等学校(高文連放送コンテンツCM部門参加制作)	免除	0
11月9日	テレビ	大倉山	テレビ朝日映像(札幌市街撮影)	免除	0
11月11日	テレビ	大倉山	K3コミュニケーションズ(スポーツニュースの取材)	免除	0
11月12日	テレビ	大倉・宮	㈱シーリンク(旅チャンネル「タウン誌の旅」撮影)	-	15,000
11月12日	写真	大倉・ミュ	札幌広域圏組合視察団(札幌広域圏組合視察団の撮影)	免除	0
11月16日	テレビ	大倉・ミュ	㈱静岡第一放送(北海道・札幌の観光ポイントとして紹介)	-	15,000
11月19日	写真	ミュージ	日本経済新聞社(ミュージアムの取材)	-	1,500
12月5日	写真	ミュージ	朝日新聞社(新聞記事の掲載)	-	1,500
12月5日	写真	ミュージ	どうしん生活情報誌札幌歩路編集部(どうしん生活情報誌札幌大倉山特集撮影)	免除	0
12月7日	写真	大倉山	㈱メッセージデザインセンター(朝日新聞社採用広告スチール撮影)	-	1,500
12月12日	写真	大倉山	㈱デリー・インフォメーション北海道(タイ国内観光雑誌「トラベルガイド」北海道特集取材)	-	1,500
12月21日	テレビ	ミュージ	㈱ビデオワーク(ケーブルテレビJ-COM札幌「さっぽろ見聞録」の撮影)	-	15,000
12月25日	写真	大倉山	しちりん舎(エア・ドウ機内誌「rapora」2月号掲載記事「北の仕事人」取材撮影)	免除	0
12月27日	テレビ	大倉山	NHK山形(小浅星子選手取材)	免除	0
12月29日	写真	大倉山	㈱ラムゼス美翔女事務局「美翔女」の撮影	免除	0
1月6日・7日	テレビ	宮の森	北海道放送(雪印メグミルク杯ジャンプ大会)	-	30,000
1月8日・9日	テレビ	大倉山	北海道放送(HBCカップジャンプ大会)	-	30,000
1月11日	写真	ミュージ	㈱道新サービスセンターオントナ事業部(オントナ札幌オリンピック特集)	免除	0
1月12日	テレビ	大倉山	NHK山形放送局(小浅星子選手特集番組撮影)	-	15,000
1月13日・14日	テレビ	大倉山	北海道文化放送(UHB杯ジャンプ大会)	-	30,000
1月15日	テレビ	大倉山	テレビ北海道(Tvhジャンプ大会)	-	15,000
1月19日	テレビ	宮の森	NHKブラネット(「つながる@きたカフェ」番組コーナー・山田いずみさんの活動紹介)	-	15,000
1月20日～22日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(STVカップジャンプ大会)	-	45,000
1月21日	テレビ	大倉山	北海道テレビ(HTBカップジャンプ大会)	-	15,000
1月21日	写真	ミュージ	㈱FM北海道(ラジオ番組の取材AIR-G)	-	1,500

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
1月26日～28日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局(ワールドカップ大会)	-	45,000
1月27日～29日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送(ワールドカップ大会)	-	45,000
1月27日	テレビ	大倉山	㈱ジェイススポーツ(ワールドカップ出場選手の取材)	-	15,000
1月30日	テレビ	ミュージ	NHKプラネット(NHK総合「ネットワークニュース北海道」撮影)	免除	0
1月30日	写真	ミュージ	朝日新聞北海道支社報道センター(報道ニュース取材)	-	1,500
1月31日	テレビ	ミュージ	北海道テレビ(札幌オリンピックから40周年を振り返るニュース特集取材)	-	15,000
1月31日	テレビ	宮の森	テレビ朝日(「報道ステーション」スポーツニュース取材)	免除	0
2月1日	テレビ	宮の森	TBSテレビ(高梨沙羅選手企画番組の撮影)	-	15,000
2月2日	テレビ	大倉・宮	NHK札幌放送局(ネットワークニュース北海道スポーツコーナー取材)	免除	0
2月3日～5日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局(NHK杯ジャンプ大会)	-	45,000
2月3日	テレビ	大倉山	NHK山形放送局(小浅星子選手ニュース取材)	免除	0
2月3日	テレビ	ミュージ	NHK札幌放送局(ネットワークニュース北海道特別展取材)	免除	0
2月7日	テレビ	大倉山	NHK山形放送局(小浅星子選手特別番組撮影)	-	15,000
2月8日	テレビ	大倉・ミュ	㈱アビリング(TVCM家庭教師のシニア、船木選手撮影)	-	15,000
2月8日	テレビ	大倉山	日本放送協会(NHK、ETV「ワンワンわんだーらんど」での挿入シーン市内景色撮影)	免除	0
2月27日	テレビ	大倉山	フジクリエイティブコーポレーション(UHB40周年記念ドラマ「バッケンレコードを超えて」テレビ撮影)	-	15,000
2月29日	テレビ	大倉山	フジクリエイティブコーポレーション(UHB40周年記念ドラマ「バッケンレコードを超えて」テレビ撮影)	-	15,000
2月29日	テレビ	ミュージ	中国ネットテレビ(北海道冬季スポーツの宣伝)	免除	0
3月4日	写真	大倉・ミュ	北海道新聞社生活部(道新「小学生新聞フムフム」に競技場を紹介)	-	1,500
3月11日	テレビ	大倉山	㈱テイクワン(札幌市街地を撮影)	免除	0
計					793,000

撮影利用料金収入合計		793,000	
内 訳	大倉山ジャンプ競技場	映画	31,000
		テレビ	645,000
		写真	6,000
		小計	682,000
	宮の森ジャンプ競技場	映画	0
		テレビ	75,000
		写真	0
		小計	75,000
	荒井山シャンツェ	テレビ	0
		小計	0
	札幌ウィンタースポーツ ミュージアム	映画	0
		テレビ	30,000
		写真	6,000
		小計	36,000

6 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
4月29日～5月2日	日本ハムファイターズSPRING FASTA(利用料金は5月分に計上)	-	713,940
6月10日～12日	第20回YOSAKOIソーラン祭り	-	720,510
7月3日	第54回札幌国際ハーフマラソン大会	5割減額	90,880
7月10日～12日	第47回日本周産期・新生児医学会学術集会	-	632,910
7月15日～17日	日本ハムファイターズファイターズ北海道祭り	-	742,410
7月29日	2011さっぽろ旭山音楽祭	-	232,140
8月12日～14日	日本ハムファイターズサマーフェスタ	-	685,470
8月21日	第12回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割減額	0
8月31日・9月1日	札幌市防災訓練(利用料金は9月分に計上)	5割減額	152,200
9月23日～25日	北海道日本ハムファイターズファイターズ秋の祭典	-	619,770
10月1日～2日	第36回札幌マラソン大会	10割減額	0
10月16日	第5回伊藤杯サマーファイナル大倉山ジャンプ大会	-	37,200
10月25日	平成23年北海道視閲式	-	137,970
11月2日	平成23年度北海道国民保護共同実働訓練	-	131,400
11月10日	平成23年度北海道国民保護共同実働訓練	-	131,400
1月6日	平成24年札幌市消防出初式	5割減額	43,800

## 6 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
1月6日～7日	第53回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	-	68,820
1月9日	第54回HBCカップジャンプ競技会	-	39,060
1月14日	第24回UHB杯ジャンプ競技会	-	31,000
1月15日	札幌スキー連盟杯兼第23回TVhジャンプ大会	-	31,000
1月21日	第39回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2012 2012HTBカップレディーススキージャンプ大会	-	57,660
1月22日	第51回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISコンチネンタルカップ2012	-	51,460
1月28日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	-	31,000
1月29日	FISジャンプワールドカップ2012札幌大会	-	40,920
2月5日	第90回全日本スキー選手権大会兼第53回NHK杯ジャンプ大会	-	37,200
2月10日～12日	トヨタビッグエア—in札幌ドーム	-	1,007,400
2月16日	平成23年度北海道警察災害警備訓練	-	131,400
2月26日	第83回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
3月17日	第13回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割減額	39,060
計			6,637,980

大型映像車利用料金収入合計		6,637,980
内 訳	場内(ジャンプ)	464,380
	場内(その他)	0
	競技場以外	6,173,600